

12月15日、近年需要が高まる国産広葉樹に関する知識の向上を目的に、株式会社小林三之助商店様の御協力を得て、勉強会を開催し、各署等から資源活用・販売担当者職員ら40名が参加しました。

午前中は、同社の広葉樹原木市場を見学し、はい積みされた様々な広葉樹の原木を見ながら、それぞれの広葉樹の多様な用途や、良材や欠点の見分け方などについて、参加者からの質疑を交えながら答えていただきました。木材は見た目が大切なので、市に出品する木材は泥を落とし、断面を綺麗にするという基本的なことから、具体的な採材について、アドバイスを頂きました。



広葉樹の原木市場



可児工場



枕木の検査状況

午後からは、木製枕木の製造を主として、パレット等の木製品や、チップ製造、木質廃材のリサイクルも行っているスケールの大きい可児工場を見学させていただきました。枕木の製造については、納品先からの依頼や品質確保に対応するための技術や細やかな工夫をされている各工程や、広葉樹だけでなくヒノキも枕木として使用されていること等をご説明いただきました。

また、木質ペレットは製造だけでなく修理にも対応されていることや、端材や木質廃材も余すところなくチップやバイオマス燃料材に利用されるなど、木材を有効活用されている取組について、広い工場内を案内し、説明していただきました。

今後、期待される国産広葉樹の供給に向けて、有意義な一日となりました。



台車に乗せられ防腐剤注入釜に入るのを待つ枕木